

# 豊田民報

日本共産党豊田市委員会  
◆豊田市日之出町一・六・六  
Tel: 三三・四七・七二  
毎週一回発行

## 名鉄バス廃止やめて！ おいでんバス増便を

「名鉄バスの東山住宅線・九久平線を廃止しないでください」という切実な声が沿線の地域に広がっています。

地域住民でつくった「おいでんバスの拡充を求める会」と根本みはる市議は、1月早々、市への要望として「名鉄バスに、東山住宅線・九久平線の廃止を中止するよう要請してください。廃止時期の延期を要請し、豊田市のおいでんバスによる代替路線を早期につくってください。」との署名に取り組んだ。



1月31日、名鉄バスへ要請

名鉄バスからは「バス路線廃止は10月に延期することを検討中。」との話を伺ってききました。

2月2日には、「おいでんバスの拡充を求める会」が、地域住民のみなさん、根本みはる市議と、豊田市の交通政策課に要望書を手渡し、住民の皆さんの切実な声を届けてきました。交通政策課からは、「おいでんバスで代替路線を検討している。」との回答がありました。

「おいでんバスの拡充を求める会」と、根本市議は「公共交通として、バスを守っていくよう、地域のみなさんと力を合わせていきます。」と語っています。

## 廃止は10月に延期 おいでんバスを検討

1月31日、大村よしのり・根本みはる両市議と本多のぶひろ豊田市議選予定候補は、日本共産党愛知県委員会と、名古屋市の名鉄バス本社へ出向き「バス路線の廃止中止を」と要請をおこないました。すやま初美参院選愛知選挙区予定候補が同席しました。



公共交通として市がバスを守ってください。

2月2日、交通政策課へ要請

## トヨタ総行動実行委員会代表が トヨタ本社へ要請を届ける

- 1、トヨタ自動車および関連企業に働くすべての労働者に8時間働いて生活できる賃金を保障すること。非正規労働者の正規化をすすめ、雇用の安定を図ること。
- 2、貴社が36協定（労働基準法第36条項）で定めている1カ月の残業時間を大幅に改善し、厚労省告示「週15時間、1ヵ月45時間、1年360時間」の限度基準以内とすること。
- 3、関係する職場すべてにおいて、過労死やセクハラ・パワハラを一掃すること。
- 4、労働災害隠しは、違法なことを認識し、速やかな対処と労基署への届け出を徹底すること。
- 5、労働契約法第18条の「無期雇用への転換・5年ルール」について、新たに契約期間と契約期間の間に6カ月の空白期間（クーリング期間）をもうけて通算契約期間をリセットすることは、脱法行為にあたるので、すぐさま法の趣旨に沿った制度の見直しをおこなうこと。
- 6、中小下請企業（3次以下の下請企業を含む）への下請単価の改善をおこない、下請二法をはじめとする法律をグループ全体が遵守すること。
- 7、これまで自動車排ガス公害によって長く被害を受け続けている患者を救済するため、新たな医療費救済制度の設立にむけて積極的な役割を果たすこと。
- 8、上記要請項目の実現のために、増え続けている内部留保の一部を活用すること。



トヨタ総行動実行委員会は6日、樽松愛労連議長を団長に、トヨタ自動車本社を訪れ、18春闘にあたっての要請書を手渡しました。※右要請書この行動には、日本共産党の大村よしのり豊田市議が参加しました。同実行委員会は、トヨタグループ各社へも同様の要請書を提出しています。

# トランプ核戦力強化に転換 核廃絶の流れに逆行

アメリカのトランプ政権は2日、核兵器をより使いやすくする方針、核戦力を強化する方針である新指針「核態勢の見直し」(NPR)を発表しました。オバマ政権の時は、核軍縮を進める方針、核兵器の役割を低下させる方針だったので、明らかな方針転換です。

世界では今、核兵器禁止条約が国連で採択されるなど、核兵器の廃絶を目指す機運が高まっています。今回の新指針NPRは、この世界の流れに逆行しています。ところが、唯一の戦争被爆



国である日本の政府は、トランプ政権の新しい核戦略を「高く評価する」との談話を3日に発表しました。

## 日本原水協 米日政府に怒り

東京都内で3日と4日に全国理事会を開催していた原水協禁止日本協議会(日本原水協)の役員からは、米日両政府に対する怒りの発言が続出。2020年までに「ヒバクシヤ国際署名」を世界数億という目標で集め、核兵器廃絶を求める圧倒的世論をつくらう、と呼びかけました。

この全国理事会に大村よしのり市議も参加しました。

## 豊田市で署名行動

豊田市でも毎月、核廃絶を呼びかける被爆者に連帯して「ヒバクシヤ国際署名」宣伝を行っています。

**ヒバクシヤ国際署名行動**  
**2月17日(土)午後1時**  
**豊田市駅デッキ上**

# 安倍9条改憲NO! 市民アクション署名 3日行動の街頭宣伝

毎月3日のアベ政治許さない行動(豊田革新懇主催)で、2月3日は、豊田市駅東口での署名宣伝行動がおこなわれました。この日は、土曜日で、駅からの乗降客も多く行き交う中での行動となりました。参加者から、オスプレイ・米軍ヘリの相次ぐ墜落・落下事故への怒り、軍事優先で暮らし後回しの政治を変えようとの訴えがありました。



# 介護利用料戻ってきました! 「軽減制度」の申請で

旧下山村在住のHさんのお義父さん(93歳)の介護利用料軽減制度を使ってお金が戻ってきました。要介護2のお義父さんは、デイサービス、ショートステイを使って、利用料を月平均1万3000円払っていました。年金の月4万9000円からは、とても払うのは大変です。

困ったHさんが相談すると、利用料の一部軽減制度があることがわかりました。Hさんはさっそく申請をしまして、利用料の2割が戻ってきました。この軽減制度は、在宅サービスを利用する所得の低い方が対象で、申請しないと活用できないため、Hさんは「この制度で、とても助かっています。しかし、多くの利用者が知らないのでは…」と話しています。日本共産党市議団は、この軽減制度を繰り返し提案し、実現してきました。さらに周知が必要です。

## 3・11 福島を忘れない さよなら原発豊田市民行動

2 10 1 30

2011年3月11日から6年11か月。福島は終わっていない。集会後、パレード行きます。(パレードは天候により判断)



大村よしのり  
豊田市議会議員



根本みはる  
豊田市議会議員

◆毎週土曜日 午前10時~12時  
◆法律相談は弁護士  
◆生活相談は市議会議員が相談にのります。  
◆お申し込みは市議会議員か  
◆日本共産党西三地区委員会まで  
Tel.0564-41-2311(2785)

無料 法律・生活相談  
おこなっています



参院愛知選挙区予定候補  
すやま初美